

○今年4月10日、我々は卒業後40年のクラス会を持ちました。会の開催に先立ち今出川キャンパスを散策し、その時に立ち寄った校友会ラウンジで本誌119号を手に入れました。オール同志社の動静が分かりました。表紙裏の「新島襄の言葉」は、私の大好きなものの一つです。以前、松山義則前総長からいただいた「笑侵風雪開」の色紙は、今でも私の宝物となっています。母校の発展を祈りつつ。

(兵庫県・黒田 洋)

○(財)日本青少年研究所の日・米・中の「高校生の学習意識と日常生活」調査では、全ての項目で日本は最低。国家意識もなく、将来展望の見通しもなく、勉強努力も低い。昨今の新聞には「大学生に補習授業」とか。終戦後60年、日本の立て直しには今後百年はかかるだろう。このような時期に「特集・変容する学生、そして大学教育」は、見事な企画でした。また、知らなかった「イザベラ・バード」も有難かった。上智大学の武内教授、

京都大学の金坂教授と他校の先生の登場も意義あることと思います。それにしても、近頃の大学の先生は大変ですね。

(兵庫県・田中康稔)

○119号所収の中で最も感銘を受けた記事は、「同志社人物誌―イザベラ・バード」です。平凡社の『日本輿地紀行』により新潟県から山形県への足跡は有名です。私の住む小国町から南陽町へのコースは、「日本のアルカディア(桃源郷)」といわれ、バードの呼称以来今も地元では大切にされています。南陽市(山形県)の「ハイジアパーク」(リゾート施設)では、バードのコナーがあつて、彼女の足跡、著書、遺品などが展示されています。もっと、もっと沢山の方に知って欲しい人物です。

今回の記事でバードと同志社、京都との関わりを詳しく紹介され、一段と親しみが湧いてきました。同志社大学、「同志社時報」に声援を送ります。

(山形県・鈴木孝二)

○何ととっても新刊紹介がこれだけ多くあるのは、ほかに例を知りません。その書評の中から、こんどはどれを読もうかと楽しみにしています。

次に、119号の「人物誌」にイザベラ・バードが取り上げられていて、とても助かりました。実は、平凡社の例の本を読み、我が郷土・会津の記事に関心を持っていました。冒頭(48頁)のバードの写真も良く、50頁には新島襄と山本家の方々の写真があつて、同志社と会津が強く結び合っていることが分かります。

(福島県・五十嵐勇作)

○終戦時9月、旧制女子専門学校を繰り上げ卒業しました。以来、60年、私は同志社を出たという思いで過ごしてきたのに気づきました。女専でもない、大学でもない、同志社です。

戦時下、山陰の田舎の城下町から受験した時、「英文科だつて、それも耶蘇の？」などと言われました。しかし、両親と女学校の校長先生らに励まされて入学することができました。それが私の同志社の始まりです。もう人生いくばくもありませんが、1年に1回は大学周辺を訪れています。昨年は寒梅館でクラスメートと喋って東京に戻りました。「同志社時報」の継続を切に希望します。

(東京都・今井 栄)

※敬称略

お知らせ

同志社創立130周年記念 Reunion

同志社大学ホームカミングデー2005

精神に帰る一日

卒業生の皆様を、思い出多き「今出川キャンパス」にお迎えし、旧師や旧友との再会、現役学生の活動をとおして母校との「絆」をより深めていただく機会となることを願い開催いたします。

- ◆日時 2005年11月6日(日) 10時～16時45分
- ◆会場 同志社大学 今出川キャンパス

■主なプログラム■

- ・開会式 10:00～ 同志社礼拝堂 ・講演会 11:15～12:00 講師:大谷 實(同志社総長)
- ・卒業生交流レセプション 12:30～13:45(会費制) ・野点 ・学生による模擬店
- ・アトラクション ・施設公開 ・キャンパスツアー ・閉会式 16:30～ M前広場

*ご来場の同志社大学卒業生の方には、記念品をご用意しています。

*開会式、卒業生交流レセプションは、「同志社創立130周年記念リユニオン」と合同開催。

◆お問い合わせ先 同志社大学校友課

TEL.075-251-3009/FAX.075-251-3097 E-mail. ji-koyu@mail.doshisha.ac.jp

第28回Neesima Room企画展

「新島襄と同志社」展

同志社創立130年を記念する展示です。新島襄以来の同志社の歩みに関し、栄光の歴史だけでなく、試練の時代も紹介されています。なお、今回から展示室の一室が「新島襄常設展示室」となりました。

- 〈期間〉2005年10月1日(土)～2006年2月28日(火)
- 〈時間〉9:30～17:00(日曜日は10:00から、土・日曜日は16:00まで)
- 〈会場〉Neesima Room
(同志社大学今出川キャンパス・ハリス理化学館2階)
- 〈閉室日〉祝日、2005年10月27日～11月1日、11月29日、12月23日～2006年1月9日
- 〈入場料〉無料(事前申し込み不要)
- 〈お問い合わせ先〉同志社史資料センター Tel. 075-251-3042
E-mail:ji-shasi@mail.doshisha.ac.jp



創立130周年記念
スタンプの原画